

守れ！イチモンジタナゴプロジェクト ニュースレター

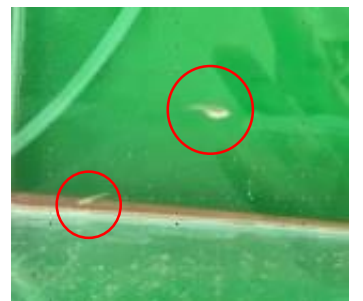
7月

2019.7

今回のメインテーマは『噴水池の外来生物退治』です！

稚魚を観察

タライ水槽から6月17日と7月13日に稚魚が浮上しました。みんなで稚魚の餌がブラインシュリンプ（エビの仲間）ということや、生まれた時期が約1か月違うと体の大きさがこんなにも違うことなど、写真を撮ったりしてじっくり観察しました。



7月13日生まれ↑

↑
6月17日生まれ



タライ水槽の観察

繁殖期のイチモンジタナゴの様子や体の色を観察し、二枚貝に産卵していないかを専用の器具を使って中を確認しました。また、タナゴ達がもっと落ち着けるように、隠れ場所にもなる水草を追加で植えました。



ザリガニ釣りにみんな大興奮！！

前回の宿題で作って来てもらったペットボトルもんどりを噴水池に仕掛け、どんな生き物がいるのか調べました。

餌のさなぎ粉を入れ30分後に引き上げると、外来生物のザリガニが入っているもんどりもありました！

そのあとは、お待ちかねのザリガニ釣りです。これは噴水池にいる外来生物の駆除を目的としています。みんな竹製の竿でスルメやアジを餌に、どんどん釣り上げていきます。そして最後にオスとメスを見分けて、数を数えると全部で約40匹でした！

また、噴水池には外来生物のウシガエルのオタマジャクシなども多く生息しているのですが、このような活動を地道に続けて、将来イチモンジタナゴが暮らせる様な噴水池の環境を作っていきたいと思います。

